

平成30年度（橋本高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行の防止	服務規律の徹底、法令遵守、職員行動指針の徹底	○公務員としての倫理意識を持ち行動した。 ○事故防止会議等において啓発資料を基に法令遵守意識の向上を図った。 ○職員同士が注意し合える環境作りを行った。
セクハラ・わいせつ行為の防止	人権に配慮した行動による職員行動指針の徹底	○個人情報の収集・登録・管理・廃棄を条例に基づき行った。 ○密室化しないよう環境の整備を行った。
体罰・不適切指導の防止	生徒の人権を尊重し体罰や不適切指導を未然に防止する。	○職員視点での職員主体の研修会を実施。 ○教員保護者の連絡を密にして情報を共有した。 ○複数の教諭での指導を徹底した。
定期試験、成績処理業務	成績処理に係る確認作業を適正に行い、事故を未然に防止。	○職員視点での職員主体の研修会を実施。 ○チェック体制を整備し点検の精度を高めた。 ○過去の事例を参考にして事故を未然に防止した。
調査書等進路関係業務	書類の作成・取扱いにおいて適切な業務遂行の体制を整える	○職員視点での職員主体の研修会を実施。 ○書類の決裁手順を確認し書類の記載ミスや誤送付、提出期日の失念を未然に防いだ。 ○複数の日によるチェック体制を図った。
入学者選抜業務	信用失墜行為のない適正な選抜業務の実施。	○マニュアルによる研修会を実施 ○チェック体制を整備し点検の精度を高めた。 ○過去の事例を参考にして事故を未然に防止した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流失を未然に防止するとともに、各種情報の管理を徹底する。	○職員視点での職員主体の研修会を実施。 ○外部記録媒体の管理を貸出し簿で行い定期的にチェックした。 ○個人情報の持ち出しは所定の手続きで徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止等	県民に対する信用を失うことのないコンプライアンスの実行	○年末・年始等に職員全員を対象に啓発資料で注意喚起を行った。 ○過去の事例を参考にして事故を未然に防止した。
業務執行体制の確保	情報共有、相互チェック体制、業務協力体制、文書管理	○学年とグループの連携を深めチェック体制を整備 ○進行管理のもとに起案・決裁を確実にを行った。 ○報告・連絡・相談体制、協力体制を確立した。
会計事務等の適正執行	会計事務を適正に行う。	○年度当初に職員全員を対象に職場研修を行った。 ○公費と私費の区分を適切に執行した。

○ 平成31年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と平成31年度に取り組むべき課題

- ・事故不祥事の防止のために外部機関からの講師派遣を依頼して職員研修を充実させる。
- ・教職員の視点に立った主体的な研修会を一層充実させる。
- ・県民の信頼を失うことのないように職員一人ひとりの法令遵守の意識を管理職のリーダーシップのもとにより強いものとしたい。
- ・一人ひとりの生徒に対する人権尊重の意識を一層高めていきたい。